

鑄造設備トラブルについてお詫びとご報告

2025 年 4 月 17 日

N J T 銅管株式会社

この度、当社で発生した鑄造設備トラブルにつきまして、お客様、お取引先様をはじめとする多くの関係各位に多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

発生したトラブルの影響、今後の生産・稼働についての見通しにつきまして、現在取り纏めをしておりますので、下記の通りご報告申し上げます。

記

1. 発生場所	伸銅所 鑄造工場
2. 発生日時	2025/3/25 3:10 頃
3. 発生状況	①銅鑄造工程で、りん脱酸銅（C1220）ビレットを鑄造中、溶解炉（以下、シャフト炉と称す）の溶湯出湯口（以下、タップホールと称す）から溶湯が流れる樋の途中（タップホールから 1000mm の位置）から溶湯が湯漏れしている事を作業者が発見し、溶解炉の稼働を緊急停止しました（3/25 3:18）。 ②シャフト炉の緊急停止によりシャフト炉外に漏れた溶湯およびシャフト炉内部に停滞した溶湯も凝固しました。このシャフト炉内で停滞した溶湯が溶解用のバーナ口を閉塞し、再度バーナを点火して溶解する事が不可能な状況となってしまいました。
4. 処置状況	①被害状況確認、処置開始（3/25 12:30～） 処置内容；タップホール及びバーナ口から、炉内に充満、凝固した銅を溶解、除去しております（継続実施中）。 ②除去完了後バーナを再点火し、ビレット鑄造を再開致します。
5. 推定原因	①シャフト炉の操業条件（バーナの燃焼出力等）を調査しましたが、失火等のトラブルは発生していない事を確認しました。 ②シャフト炉に投入する原料の装入履歴を確認しましたが、弊社の定常作業通り実施している事を確認しました。 ③原因と致しましては、シャフト炉に投入した原料（小型形状の社内スクラップ等）が、十分加熱されていない状態で炉床まで落下し、それを起点に凝固部が拡大して最終的にタップホールを閉塞したものと推定されました。 ④更に、タップホールが閉塞された事により、溶湯が炉床から凝固しながらバーナ口レベルまで堆積し、バーナ口を閉塞、凝固したものと考えられました。
6. 復旧目標 (稼働再開見通し)	2025/4/28 （工事の進捗状況により変更がある場合は都度ご報告致します）

以上